

ほけんだより

保育園の感染情報

10月28日現在、感染症罹患により
保育園を欠席しているお子さんはい
ません。

だんだんと冬が近づいてきました。

ウイルス性胃腸炎など、下痢、嘔吐をともなう風邪が出始める時期になります。

冬場に多い おう吐・下痢

この時期、気をつけたいのが「ウイルス性胃腸炎」。
ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、お
う吐と水のようなひどい下痢が起こります。高熱
はあまり出ませんが、おう吐や下痢で体内の水分
が失われ、脱水症状になると危険です。何よりも
まず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

おう吐・下痢のケア



知っておこう

おう吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスや
ロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次
感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い
捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を薄めた
消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚
れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液
をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、
85℃以上の熱湯に1分間
つけてから洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、
アイロンをかけたりする
と、熱に弱いノロウイル
スは死滅しやすい。



インフルエンザ・・・知っているようで・・・
「わからないこと」ありませんか？

インフルエンザ 予防接種 Q&A

かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエン
ザ。0、1、2歳児がかかると、肺炎やインフルエン
ザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておく
と、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

Q 去年インフルエンザの予防接種を受けた ので、今年は受けなくてよい？

A 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の
3つがあり、年によって流行する型が違います。A
型B型がよく流行しますが、毎年予防接種を受け
ることで、効果が期待できます。

Q 受けるとインフルエンザにかからないの？

A 必ず発病を防げるというものではありませんが、
かかっても重症化したり、合併症を起こしたりす
るリスクを減らすことができます。

Q 予防接種の効果が続く期間は？

A 接種後、効果が現れるまでに約2週間かかり、そ
の後半年くらいは持続します。

Q 接種の方法は？

A 生後6か月から受けられます。大人は1回接種、
13歳以下の子どもは2回接種が必要。1回目の接
種の後、2～4週間あけて2回目を接種します。
ただし卵アレルギーがある子は、医師と相談しま
しょう。

Q いつごろ受けたほうがよいの？

A 最も患者数が増えるのは1月～2月です
が、流行は12月ごろから始まります。それ
までに免疫をつけておきたいので、1回目
は10月後半ごろ、2回目は2～4週間後
に接種しましょう。